

38

解題番號

軍人現況不明者調書

所 (詳令年月日) 轄 第10師根 (上、七、三三)		留守適當者 氏 名 天		家 族 の 承 知 し て ゐ る 情 況 氏 名 天		提出年月日 年 月 日		情報提供者 部 隊 等 級 氏 名 工 兵 氏 名 入籍番號		同右現住所 氏 名 入籍番號		本人とは 何處で何 時送一結 だつたか 其の時 本人の 状況 同部隊名 力十特訓根根地		其 死 因 年月日 二〇、八、二〇 戦死 場所 日本一州でエラン	
内 地 出 身 年 月 日、場 所、乗船名(又は航 空機)行先 徳島縣		内容 差出日附 部隊符號 受領年月日 檢閲者印(捺印)		等 級 氏 名 上 曹 生年月日 入籍番號		歸 還 者 か ら の 情 報 年 月 日		現 住 所 住 籍 所 地		其 死 因 年月日 二〇、八、二〇 戦死 場所 日本一州でエラン		其 死 因 年月日 二〇、八、二〇 戦死 場所 日本一州でエラン			

裏面記載上の注意を見て下さい（※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい）

8-12

面記帳上の注意を以て書いて下さい。又、各債の各債は記載に及びません。又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に問うて下さい。

元海軍軍人未處理者調書

(沖縄、大島用)

整理番號	明 210
留守遺留者	所 (非令年月日) 姓 和 (17.4.29) 水長
籍柄	氏 名
氏 名	生年月日 入籍番號
現 住	(現本) 住 籍 所 地

家族の承知されてゐる情況

本人からの最後の手紙に就いて御記入下さい	差出日附 (十和年四月二十九日) 部隊符號 () 受領年月日 () 年 月 日 検閲者印 ()	内容 昭和十一年四月二十九日 ハスミダ諸島バリー島	其の他本人の情況を知る爲に参考になることを書いて下さい
内地出發年月日、場所、乗船名、行先がわかりますなら書いて下さい	(一) 船隊長から何か通知がありましたか (二) 歸還者から何か通知がありましたか (三) 其の他のところから何か通知がありましたか 以上ありましたらそれを書いて通知した人の住所氏名を書いて下さい	第五艦隊司令部 死傷者及遺失者 昭和二十二年五月一日 詳細十便りがアリタタ	

歸還者からの情報 (歸還者の方は本欄に未處理者個人に對することゝ)
(自分の歸じてゐた部隊の情報を記入して下さい)

未處理者個人に對する情報

情報提供者

部隊等級 氏名 入籍番號

同右現住所

本人とは何處で何時から何時迄一緒にいたか又別れる時の本人の状況はどうでしたかそれを本欄に記入して下さい

戦死者でしたらその状況を本欄に記入して下さい

死亡が病死なら病名を記入して下さい

行方不明か逃亡者ならばその状況を記入して下さい

他に本人の消息をよく知つてゐると思われる方の住所氏名を記入して下さい

備考

歸還者の歸してゐた部隊の情報

この欄には所屬部隊の行動、戦闘状況(艦船事故ならその状況)を詳しく書いて下さい
(特に場所、年月日を洩らさない様にして下さい)

上記の歸還者 藤田三十二年二月一日復員を全水退恩明秋の還骨と還首品五字品復員戸第二課出張所へ御展をされる由
三十二年七月五日還首品は自宅へ展呈を承り還骨は米石展呈せん

昭和十一年四月二十九日ヨリ三十二年十二月十三日迄

死亡原因 戦死
死亡年月日 昭和十一年十一月十一日
死亡の場所 小笠原諸島バリバリー
クイターアヤト村

原 因
年 月 日
場 所

昭和十一年十一月十一日 戦死

3110

海軍二軍共電
○松本親王十九年二月二十日
善後兵國に因致し、今月二十一日、兵部省に轉勤。此等
修了は全戦是員隊附より其の右隊に入り、二十四時限
同附轉勤命令を全いして、天候入国を共に致し、奇隊
編成も亦に同じく敵に編入され、進口の地を出発後終戦迄
這越居たり共にせし者なり、終戦夜チキレ島ケルベに歸
り木隊にて十月迄共に終戦處理に従事せしが、スバワ島
口ボツタの集結地に向ひ為り、

ハ残部隊に加はり、殊に處理に従事し二十一年三月十日
前迄愈々任務を終えて、口ボツタに集結地に向ふと、東航途中
（三月十番）放浪中、行方不明となり相次ぎ翌十番朝在事時に
御座る如き所見に至らば素直としとも不明なる事なりといふ
日本人の官舎（家帳）私物全部取り出し、暗号・現金その他印
鑑・筆墨のみを残し、改稱せられたしく、裁判ありて引揚

(左)

の諸公は、予が使節、必らず伺ふべき事、然るに見えず。果して何者
に絶望を萌て居ましたか。予は本館引揚、通商條約の
ラリアに離れ、休養致し、坐落舟日は、難業中、なりとの事、
輸送船は、本館に架設便所、外舷に吊るしてあるのみ、
非常に危険極まり。そのなりと爲め、夜中、用便に赴き、通る海中
に轉落せし事、難業中、そのなりと爲め、顔面を、裏筋の上、無慮
見ぬ所、航海中、救生、還不可能との事故、（其は引揚し、若の
誌）此に申告せし候、尚、其に、本館に、ぬれ、場所、不明なる
点、甚だ遺憾に候、（其は、本館、フロレスを、通、通、後、と、
思、推、中、候、

昭和二十一年三月廿四日

在りて、

海軍、第、

失

現、

失

水簾地

所屈部隊

筆緩上水
年氏名
人籍各示

外也 著者 西曆一千九百零六年六月
全五列名
地 名
子モール島 (クーパン)

卷一	90
----	----

[illegible]

昭和七年三月二十一日
夕方五時

三ノノ

$$y = \sqrt{x} = 1.5$$

我死

五中腔 2 章 20

大久保嘉之國日生師也

召喚
和年二年

丁巳年

等級二曹

或



右
同

नि

第二南遣糧隊附七一二七三六

隊

備考

五十餘 坐落者より受く

一 本詞齊口既發者。身上開作一切虛理。亦不爲家。爲道。爲聖。爲賢。

・ 詳細記入 ↓ ↓ ↓

二 他人の雷に承知し、事角は其に前未だ記入し下る

1875
25
1
7
10

雅齋集

今石家良人石其麟書於時即小臨筆三等天寶

此段有善後名

海軍一等大將

行

第八卷 備陳 ヌナド 三十六特權

貼之五日自癒

昭和二十一年四月一日（土）

點七八聲因反振要

昭和二年十二月五日頒布
昭和二年十二月五日頒布

二可曰陳子野賦生秋發一破記者所說七卷曰近考補

端

遼東人姓地 和歌山縣 只邊邑 明和二十一年五月十八日

遺界以上迄地以下復員所事務更に引渡す

3116

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

振發清

月同受賈

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

（附録）
（通）
（通）

7198
23
8月21日

死亡証明書

生

右者昭和二十一年五月一日午後八時セレベス
島マリングン集團地区ニ於テ心臓麻痺ト
ニテ死シ昭和二十一年五月九日セレベス島
マリングン集團地区ニ埋葬ス

佐世保港出帆期日昭和九年四月五日

右確實ニ死セシ事ヲ証明ス

第三海洋丸船長

死歿者調書

八月八日

徳島地方支店印
第二徳島員

本籍地

現住所

所属部隊

入團年月

等

年

月

日

勤務の概要

死因又は受傷

年月日

病名又は傷名

右へ

第二十二特別根拠地帯

昭和十八年

六月

二十日

海軍航空隊

二等兵

姓名

昭和二十年九月十五日

脚氣

終戦後九月十五日

終戦後九月十五日

死亡年月日 昭和二十一年八月九日
 死亡場所 戦死
 死之時の状況 昭和二十一年八月九日、地味橋頭を渡り、大敵の襲撃を受け、戦死。
 右の通承知して、あつたから申告致し、ます。

昭和二十一年八月九日

入籍番号	第...
本籍地	...
現住所	左全
所属部隊	第二十二特別根拠地隊

備考
 一本調書は死歿者の身上関係一切と處理するものである
 から慎重に且つ詳細に記入して下さう
 二他人から聞いて承知した事項は其の首末尾全由に記入し
 下さう

パリッパニニ於て慰霊祭モ済ミ、英霊ハ名古屋復興局ニ修メテ有リマス

死
被者
調書

[illegible]

22-12

昭和二十一年

十二月八日

告

申告者

入籍番号

等級

二級

背氏名

本籍地

現住所

所属部隊

第五

隊

隊

備考

一本調書は死没者の身主関係一切を処理するものなり
慎重に且詳細に記入して下さい
二種人の間には兼知した事項は其の旨末尾の餘白に
記入して下さい